

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑧

「蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から」 / 漢字・歴史的仮名遣い・古語・古典の読解

1 年 組 番 氏名 _____

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」(P. 1～P. 5)までです。
- 大問四は、教科書『国語 1』(光村図書)の「蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から」を開いて解答しなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能 (50点)

一

次の――線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合は、必ず書くこと。

1点×20＝20点

- | | |
|---------------------------------|--|
| ① 貴重 <u>な</u> 品。 | ② 宝 <u>石</u> が <u>か</u> がやく。 |
| ③ 将来の <u>職</u> 業を <u>考</u> える。 | ④ 苦 <u>労</u> を <u>重</u> ねる。 |
| ⑤ 事 <u>実</u> を <u>偽</u> る。 | ⑥ 難 <u>題</u> を <u>出</u> す。 |
| ⑦ 貴 <u>族</u> の <u>く</u> らし。 | ⑧ 請 <u>求</u> 書が <u>届</u> く。 |
| ⑨ 客が <u>訪</u> れる。 | ⑩ 話を聞いて <u>驚</u> く。 |
| ⑪ ゆうめ <u>い</u> な作品を <u>読</u> む。 | ⑫ 船で <u>こ</u> う <u>か</u> いに出る。 |
| ⑬ その話を <u>う</u> たが <u>う</u> 。 | ⑭ 船の <u>ざ</u> いり <u>ょう</u> 。 |
| ⑮ 旅の <u>じゅん</u> びを <u>し</u> る。 | ⑯ し <u>ょう</u> じ <u>き</u> に <u>話</u> す。 |
| ⑰ 心から <u>あ</u> や <u>ま</u> る。 | ⑱ <u>め</u> ず <u>ら</u> しい花。 |
| ⑲ <u>でん</u> せ <u>つ</u> の島。 | ⑳ 主君に <u>つ</u> か <u>え</u> る。 |

二

次の問いに答えなさい。

2点×9＝18点

- (1)～(5)の――線部を、現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。

- (1) 竹取の翁といふものありけり。
(2) いとをかしと思ふ。
(3) 三寸ばかりなる人、そこにゐたり。
(4) 人としてはぢを知る。
(5) いとあはれなり。

- (6)～(9)の問いに答えなさい。

- (6) 古語「いと」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 少し イ とても ウ やがて エ 決して

- (7) 古語「あやし」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 不思議だ イ うれしい ウ はずかしい エ うらやましい

- (8) 古語「うつくし」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア おそろしい イ かわいらしい ウ めずらしい エ さびしい

- (9) 「ありけり」の「けり」が表している意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 打ち消し（～ない） イ 過去（～た） ウ 命令（～せよ） エ 疑問（～か）

三

古典についての、次の問いに答えなさい。

2点×6＝12点

- (1) 『竹取物語』が作られたと考えられている時代を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 奈良時代 イ 平安時代 ウ 鎌倉時代 エ 江戸時代

- (2) 『徒然草』のように、作者が見聞きしたことや感じたことを、自由な形式で書いた文章を何というか。漢字二字で書きなさい。

- (3) 『竹取物語』の作者について、あてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 紫式部 イ 清少納言 ウ 作者はわかっていない エ 兼好法師

- (4) 古文で、「ぞ」「こそ」などの助詞を文中で受けて、文末の言葉の形が変わるきまりを何というか。四字（漢字とひらがな）で書きなさい。

- (5) 故事成語「矛盾」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 前に言ったことと後に言ったことをつじつまが合わないこと。

イ 二つのものの力がつり合って、どちらも動けないこと。

ウ むだな努力を、何度もくり返すこと。

エ 強い者が、弱い者をおどして従わせること。

- (6) 『竹取物語』と同じ時代に作られた作品を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 枕草子 イ 徒然草 ウ 万葉集 エ 古事記

四 教科書の「蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から」を読んで、後の問いに答えなさい。

50点

(1) かぐや姫が、求婚してきた人たちに難題を出したのはなぜか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 求婚してきた人たちの身分の高さを、たしかめたかったから。
- イ だれとも結婚する気がなく、無理な難題を出して、求婚をあきらめさせようとしたから。
- ウ めずらしい宝物を集めて、自分のかざりにしたかったから。
- エ 翁に、もっとお金持ちになってほしかったから。

(2) くらもちの皇子は、どのような方法で「蓬莱の玉の枝」を用意したか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 船で蓬莱の山まで行き、自分の手で折り取ってきた。
- イ ほかの求婚者から、ゆずり受けた。
- ウ 人に命じて、玉の枝そっくりの品を作らせた。
- エ 都の市で、高い値段で買い求めた。

(3) 皇子が、玉の枝を手に入れたいきさつを長々と、しかも細かく語ったのはなぜか。「～ため。」の形で、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 6点

(4) 翁は、皇子の語った話をどのように受け取ったか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 話の筋が通らないと感じ、皇子に質問を重ねた。
- イ 皇子の話をそのまま信じ、かぐや姫に結婚をすすめた。
- ウ 話の意味がまったくわからず、何も言えなかった。
- エ 皇子の身分の高さだけを気にして、話は聞かなかった。

(5) 皇子の話が事実でないことが明らかになったきっかけは何か。「～こと。」の形で、二十字以上三十字以内で書きなさい。 5点

(6) この場面から読み取れる皇子の人物像として、最もあてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 目的のためには手段を選ばない、ずるがしこい人物。
- イ まじめで、一度した約束をかたく守りとおす人物。
- ウ 力が強く、荒々しいふるまいを好む人物。
- エ 引っこみ思案で、人の前では話すことができない人物。

四

(つづき)

(7) 皇子が玉の枝を見せたときと、皇子の話が事実でないとわかったときとで、かぐや姫の心情はどのように変化したか。三十字以上四十字以内で書きなさい。【6点】

(8) 当時の人々が「蓬莱」に対して抱いていたイメージとして、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。【4点】

- ア 行けばすぐに帰ってこられる、身近で便利な場所。
- イ ふつうの人が行くことのできない、ありがたい宝のある場所。
- ウ 争いが絶えず、だれもが行きたがらない恐ろしい場所。
- エ 作物がよく育ち、米や麦がたくさんとれる豊かな土地。

(9) この話の物語としてのおもしろさ(工夫)はどこにあるか。三十字以上四十字以内で書きなさい。【6点】

(10) 『竹取物語』の冒頭「今は昔、竹取の翁といふものありけり。」の「今は昔」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。【3点】

- ア 今も昔も、まったく変わらないが。
- イ 今からみれば昔のことだが。
- ウ 今よりも昔のほうがよかったが。
- エ 昔のことは、今ではわからないが。

(11) この場面の内容にあてはまるものを全て選び、記号で答えなさい。【完答】【4点】

- ア 皇子は、蓬莱へ行くふりをして、しばらく姿をかくしていた。
- イ 皇子は、玉の枝を持ち帰ったあと、すぐにかぐや姫と結婚した。
- ウ 皇子は、身分の高い人物として登場する。
- エ かぐや姫は、皇子の話を聞いて、すっかり皇子を気に入った。
- オ 皇子は、玉の枝を手に入れたと言って、かぐや姫のもとへ持ってきた。

解答用紙① 知識・技能

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑧「蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から」

1 年 組 番 氏名 _____

知識・技能 小計

一 漢字 (1 点×20)	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
一 (つづき)	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

解答用紙①（つづき） 知識・技能

中学１年 国語科 教材別テスト⑧「蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から」

1 年	組	番	氏名	_____
-----	---	---	----	-------

二 歴史的仮名遣い・古語 (2点×9)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	
	(9)			

三 古典の基礎知識 (2点×6)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	

解答用紙② 思考・判断・表現

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑧「蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から」

1 年	組	番	氏名	_____
-----	---	---	----	-------

思考・判断・表現
小計

合計（100点満点）

四 「蓬萊の 玉の枝― 「竹取物語」 から」 (50点)	(1)		(2)	
	(3)			
	(4)			
	(5)			
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)			
	(10)			
(11)				

※ 記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（3）は25～35字、（5）は20～30字、（7）（9）は30～40字です。

